

卓 話

平成 29 年 9 月 5 日

『 出前講座について 』

国際ロータリー第2630地区
青少年育成小委員会
委員長 下田徳彦 様

先日の岐阜AグループのIMに参加した際に、渡辺会長が元
気良く情熱を持って岐阜中ロータリークラブの10年後の将来像
を語られていたことがとても印象に残っています。そして、今
年度の計画に出前講座を実施することも発表されました。本日
の卓話が貴クラブの出前講座の実施に向けて何かお役に立てた
ら幸いに存じます。

最初に出前講座への思いについてお話いたします。今年度の
RI会長テーマは「変化をもたらす」です。「ロータリーはどん
な団体か」ではなく、「何をしているか」とRI会長所信にある
ように、私も行動が大切だと思います。そして、田山ガバナーの地区活動方針テーマは「未来を創造
しよう」ですが、私は青少年奉仕において出前講座こそ、これらのテーマを具現化できる活動である
と確信しています。

地域の子どもたちにとって、私たちができる活動であり、必ず未来への創造につながっていくと感
じています。

国際ロータリー第2630地区青少年育成小委員会で推奨している「出前講座」についてご説明い
たします。通常、出前講座というと1人の講師で1クラスを担当する授業形式をイメージされると思
いますが、少人数のグループに分かれて行うワークショップ形式をお奨めしております。その理由とし
ては、生徒との対話を重視しているからです。職業奉仕を理念とするロータリークラブの会員が正し
い職業観や「夢」や「誇り」を持つことの大切を伝え、また、生徒からは普段疑問に思っていること
に答えたり・・・この対話型出前講座が生徒からも先生からも好評で、大変支持されており、毎年学
校側のニーズも高まっています。どうしても多数の講師が必要となるため、1つのクラブで対応する
のではなく、隣同士のクラブが協力し合って実施していく必要があると考えています。

2020年に学習指導要領が大きく改定されます。これまでの家庭教育と学校教育に加えて地域と協働
する社会教育がとても重要な役割をなし、益々、出前講座の必要性が高まってくると感じています。
県の教育関係者によると、地域の子どもたちが郷土を離れ戻ってこないという状況が、今後益々、深
刻になり、県内各地域の活力が著しく低下していくことが予想され、特に岐阜県は大変危機的な状況
にあると懸念されています。

昨年のアンケートによると出前講座を実施するにあたり、やり方がわからないというクラブが多数
あったので、地区委員会としてマニュアル、出前講座ダイジェスト動画等が入ったDVDを各クラブ
に送付してあります。実施にあたり参考になるとと思いますので、是非ご活用ください。また、前向き
に取り組むクラブにおいては、私ができる活動支援は精一杯させていただく所存です。

最後になりますが、地域の未来を担う子どもたちのために、地域の奉仕団体であるロータリークラ
ブが手を取り合って、組織力を活かしてできる活動として「出前講座」の普及を進めてまいります。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

